

タイの財閥(サハ・グループ)について

バンコック駐在員事務所

小沢 康正

サワディーカップ。今回は『タイの財閥(サハ・グループ)』についてレポート致します。

タイの財閥は数多くの日系企業と提携をしておりますが、日系企業との提携を活用して規模を拡大させた代表格がサハ・グループではないでしょうか。1967年にライオンとの提携を皮切りに、1970年にワコールと提携、その後セコム・ローソン・エリエール・ツルハ・イトキン・旭化成・ゲンゼ・セーレン・エステー・UCC・ケンミン食品・モルテン等、多岐に渡る分野で日系企業との提携を重ねてきました。このように日系企業と数多い提携を持つ消費財系タイ最大のコングロマリットについてまとめましたので、タイへ進出を検討される際の一助としていただければ幸いです。

サハ・グループの事業は、食品・化粧品・トイレタリー・繊維・衣料品・靴製品・革製品・スポーツ用品・電化製品・電材製品・物流・サービス等多くの分野をカバーしています。

業種	企業名	概要
消費財	ライオン・コーポレーション・タイランド*	1967年提携し石鹸やシャンプーの製造開始
	サハ・ローソン	コンビニチェーンをタイ国内に展開
	ショップ・グローバル・タイランド	セントラルグループや住商と組んだテレビ通販
	ツルハ・インターナショナル	ドラッグストアチェーンを展開
アパレル	タイ・ワコール	女性用下着の製造販売
	タイ・イトキン	各種婦人服・紳士服の製造販売
	ICC インターナショナル	アパレル・生活用品販売の事業統括会社
食品	タイ・プレジデントフーズ	タイの国民食・即席麺『ママー』の製造販売
サービス	タイ・セコム	タイ最大のセキュリティー会社

サハ・グループは80社以上日系企業との提携を重ねてきましたが、その提携の中心的な役割を果たしてきたのが、ブンヤシット・チョクワタナー会長です。18歳で来日してから6年間貿易業に従事し、その後日本製品をタイ人の生活に定着させ、タイを世界有数の日系企業の集積地に育てた立役者の一人です。

ブンヤシット会長は数多くの提携を成功させていますが、失敗したケースは人材が原因であると忠告されています。日本企業がタイへ進出する際には創業精神がある人材を送るべきと説いています。日本の方法をそのままタイで実行しようとする人材ではなく、創業精神があり臨機応変に対応できる人材であれば成功できるとのことです。

タイにはダイナミズムを持つ財閥が数多くあります。そのダイナミズムに乗るべくタイへの進出を検討してみたいかがでしょうか。